

校長室より⑤

2学期始業式 8/22



31日間の夏休みが終わり、86日間の2学期が始まりました。生徒12名全員、元気よくスタートすることができました。生徒代表の2学期の抱負の発表では、2年生男子が原稿を持たずに、自分の言葉で2学期の抱負を発表しました。

校長講話では『私たちはなぜ学ぶのか』について、脳科学の話として、読み・書き・計算で脳がどう働くのか、人に役立つことをすると流れるホルモンについて話しました。また、イソップ物語『3人の石工の話』から「何のために学ぶのか」について考えてもらいました。生徒にはグーグルフォームで講話で考えたことや2学期の「わたしのプラス1」と「アウトプット」、夏休みの様子について書いてもらうようにしています。

夏休み中の活動より

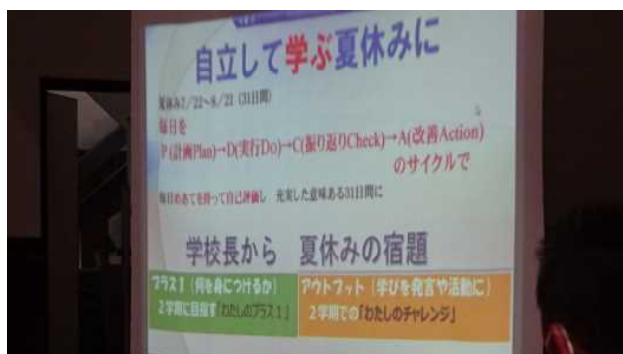
【職員の研修】

夏季休業中には、先生方も様々な研修に参加しています。下伊那教育会の夏季研修講座が7月27日28日と4講座オンラインで行われ、著名な講師の講義を聴くことができました。

また、天龍小天龍中どんぐり向方学園合同の研修や救急救命講習、各種研究会の夏季研修会へ参加し、資質向上や授業力の向上に向けて取り組んできました。この研修の成果を2学期の授業改善に生かせるようにしたいと思います。

【生徒の自主学習・部活動等】

夏季休業中は、始めの2週間と最後の週に教室を開放し、自主学習や生徒会活動・部活動で主体的に生徒も参加しています。学習では自分の課題に沿って学習したり、教科担任に相談したりしながら、学んでいました。また、生徒会では9月23日におこなわれる譲葉祭（文化祭）の企画や準備も行っていました。部活動も、朝涼しい時間の自主学習前に汗を流しました。7月末には、高校体験入学もあり3年生はそれぞれの希望校へ参加してきています。



防災訓練 地域の担い手として 9/1



南海トラフ地震想定の特龍村総合防災訓練に合わせて特龍中学校でも避難防災訓練を行いました。村の防災無線での緊急速報で、避難所となる老人福祉センターへ避難しました。

避難先の老人福祉センターでは、避難してきた一般住民の方と一緒に「段ボールベッド」と「簡易トイレ」の組み立てを体験しました。生徒からは「以外としっかりしている」「自分たちも簡単にできた」との感想がありました。

帰校後、学校長からの講評で、南海トラフ地震の被害想定や高齢者が多い特龍村では中学生が避難支援や復旧活動の担い手として必要となることを話しました、生徒は「大人が仕事に出ている時間に地震が来たら、自分たちが率先して小さい子や小学生を助けなきゃと思った。」と頼もしい感想もありました。